

環境経営レポート



ASAI
Wood Materia



®環境省

エコアクション21

認証番号0012737

アサイウッドマテリア株式会社

対象期間：第70期（2022年7月～2023年6月）

～目次～

1. 組織の概要.....	3
2. 経営理念.....	4
3. 環境・品質方針	5
4. 環境経営対象組織図.....	6
5. 環境経営の役割・責任・権限.....	7
6. SDGs への自社の取り組み….....	8
7. 環境経営目標.....	12
8. 環境経営目標及びその実績（2022年7月～2023年6月）	13
9. 環境経営計画及び取り組み結果とその評価.....	17
10. 三カ年計画.....	19
11. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果.....	20
12. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果	21

1. 組織の概要

名称及び代表者 アサイウッドマテリア株式会社 代表取締役 浅井勇詞
ホームページ <https://gouhan.shop/>

所在地

【本社・本社工場】 〒490-1428 愛知県弥富市竹田三丁目228番地 ☎0567-52-2101
【弥富工場】 〒498-0066 愛知県弥富市楠二丁目7番地 ☎0567-68-1510

創立年 1920年

環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】 管理部 佐野 孝子 ☎0567-52-2101
【環境管理担当者】 管理部 有馬 翔子 ☎0567-52-2101

事業内容

合板卸、造作材製造及び加工

事業の規模（令和5年6月現在）

【資本金】 9,000万円
【売上高】 167,182万円

規模	本社事務所	本社工場	弥富工場（事務所含む）	合計
従業員数	9名	11名	19名	39名
延べ床面積	406㎡	9480.403㎡	3980.025㎡	13866.428㎡

事業年度 7月1日～6月30日

対象範囲

対象組織・・・本社・本社工場、弥富工場
対象活動・・・事業内容と同じ
レポートの対象期間・・・ 第70期（2022年7月1日～2023年6月30日）
発行日・・・2023年10月20日
改定日・・・2023年10月20日

2. 経営理念

私たちは、環境との調和を保ちつつ、木を中心とした商品・サービスの展開を通して、社会の維持発展と人々の幸せに貢献していきます。



経営理念の解説

1. 事業領域を、合板から「木」に関すること全般に広げていきます。取り扱う商品やサービスの幅を広げることで、さらに社会のお役に立てる会社をめざしていきます。
2. 天然資源を扱う事業者として、事業活動が社会や環境にとって大きな負荷にならないように心掛け、産業廃棄物の削減や省エネルギーに取り組みます。
3. 豊かな暮らしを実現するために、会社の経営資源である、人材・設備・技術のすべてにおいて更なる向上を目指します。
4. 少子高齢化、地方の過疎化、自然災害等の多発など、現在の日本はさまざまな問題を抱えています。日々の事業活動を通して、従業員の人的成長を図ることで、「社会」の問題解決、更には「維持発展」に貢献できる人材を育成します。
5. 「人々」には、直接のお客様はもちろんの事、最終消費者、仕入先、木材生産者、会社の存在する地域社会（弥富市）の住民、そして当社で働く従業員とその家族を含みます。

3. 環境・品質方針

当社は、環境問題への対応が事業継続に置いて最重要であるとの認識のもと、製造業の要である品質改善と不離一体の活動として進める必要があると考え、方針として掲げ、関連する各部門で目標を設定し推進します。

環境方針

- 地域企業として、環境に配慮したモノづくりを行います。
 - ・ 使用する材料を、植林木や廃材リサイクル品などの、より環境負荷の少ないものにする。
 - ・ 事業所の周辺環境への悪影響を低減する。
- 環境関連の法規制を遵守します。
- 当社が認証を取得している環境マネジメントシステム（EMS）、エコアクション21の運用を通じて、持続的に排出物の削減と省エネに取り組みます。
- 毎年の環境目標と実績について、ホームページ等で広く情報開示をします。
- 環境に関する社員教育を実施し、5S活動を通じて環境美化に努めます。
- 社員の健康促進に配慮します。

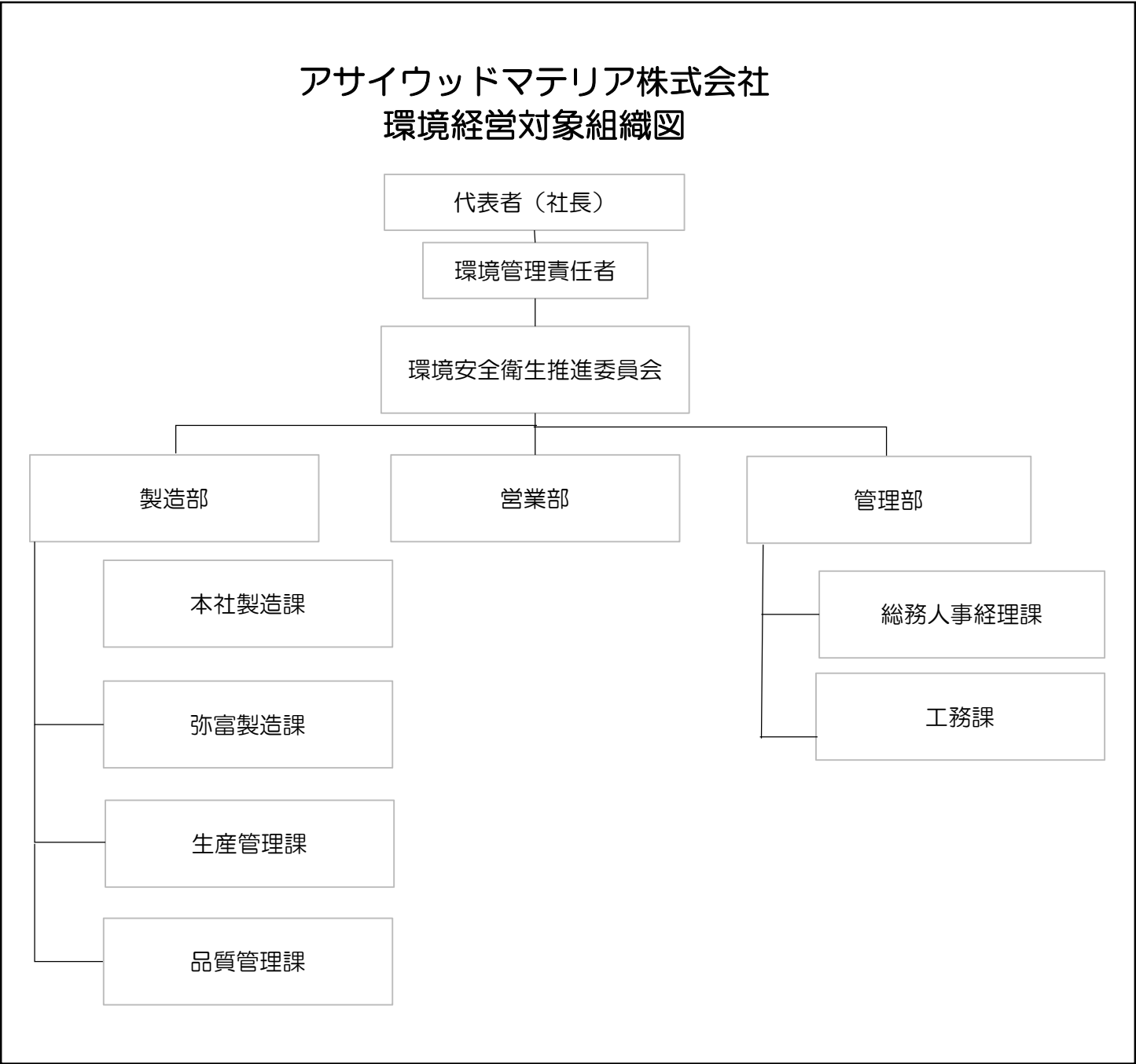
品質方針

- 品質第一を徹底し、お客様に信頼されるモノづくりを行います。
- 関連する法規制を遵守し、安全な商品を作ります。
- 違法な木材を使用しないように注意を払うとともに、材料のトレーサビリティを確実にし、安心な商品を提供します。
- 品質マネジメントシステム（QMS）、ISO9001の運用を通じて、品質追及の努力を続けていきます。
- 品質に関する社員教育を実施し、問題解決能力の向上を図ります。

改定日 2023年6月30日

アサイウッドマテリア株式会社
代表取締役 浅井 勇詞

4. 環境経営対象組織図



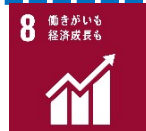
※2023年6月30日時点。7月1日～ 営業部⇒渉外部に名称変更

5. 環境経営の役割・責任・権限

代表者（社長）	環境方針の策定 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用を準備 環境管理責任者を任命 環境経営システム全体の評価と見直し・指示 環境目標・環境活動計画書の承認 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理 環境目標・環境活動計画書を確認 環境経営レポートを確認し代表者へ報告 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
環境安全衛生 推進委員会 （事務局）	環境管理責任者の補佐 環境活動の実績集計、評価、及びレポートの作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連活動の外部コミュニケーションの窓口 環境関連の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境目標・環境活動計画書の作成 環境経営レポートの取りまとめ、外部への公表
全従業員	環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚 環境目標・環境活動計画書を理解し実行に移す 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6. SDGsへの自社の取り組み

①ベトナム人技術者の育成



ベトナム人の技術者を正社員として雇用しています。

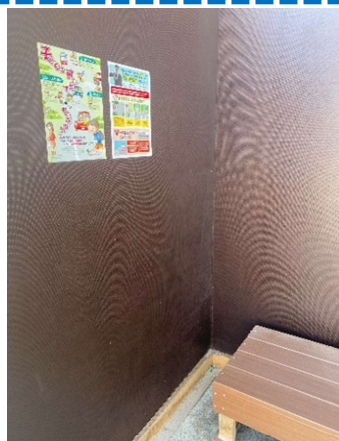
今年度は3名のベトナム人技術者が私たち従業員の一員になっていただきました。

日本語検定合格者には報奨金を支給、また入社後は必ずフォークリフト免許取得にチャレンジしており、資格取得を積極的に応援しています。

②従業員の健康促進



社内1箇所の喫煙所

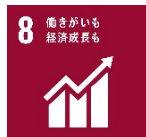


年に一度、全従業員に健康診断を受診していただきます。管理部が医師の指示を仰ぎ、生活指導を行っています。

工場内の喫煙所を1箇所にまとめ、利用者が清掃を行うようにしました。

喫煙所に社内報や交通安全や健康に関するポスターを掲示することで、じっくり内容を読み意識を高めてもらえるように工夫しています。

③5S活動で効率アップ



毎日10分間の2S活動に加え、来年度（2023年7月）からコンサルタントからの指導を受けながら5S活動を行うことになりました。

写真はコンサルタント担当者様を交えた5S推進委員会発足の壮行会の様子です。

ただ「きれいにする」というだけでなく生産性アップ・会社の業績アップを最終目標に会社全体で取り組んでいきます。

④FSC認証製品で環境保護に貢献



封筒などの紙製品を購入する際はFSC認証マークの有無を確認し購入するようにしています。

それだけでなく、自社製品の合板もFSC認証を受けたものを一部使用しており、自社もFSC-CoC認証を受けています。

経営理念の通り、木材を通じて社会の維持発展に貢献できる取り組みであると考えております。

⑤ゴミの分別



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



ゴミの分別を図で表示するようにしたことで、入れ間違いが減り、仕分けで迷うことが少なくなりました。また「ストレッチフィルム」を確実に分別するようになったため、リサイクルが可能となりました。産業廃棄物のゴミステーションを製作しさらに細かく分別ができるようになりました。

⑥毎日省エネ活動



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



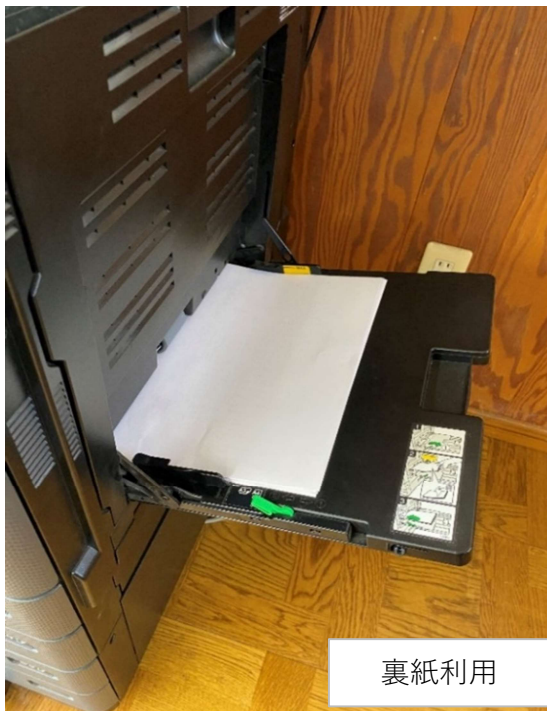
15 陸の豊かさも
守ろう



部分消灯



ハイブリッドカー



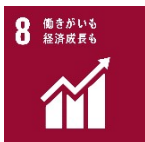
裏紙利用

日常に行うことができる省エネ活動を続けています。事務所で不在の席や、来客がない日の玄関の消灯を行います。

A4の裏紙を再利用したり、両面印刷や2in1での印刷を心がけ紙の無駄遣いを減らします。

営業車はすべてハイブリッドカー。さらに車内にエコドライブ推進ステッカー等を設置しより環境に配慮できるよう意識することができました。

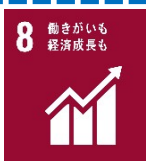
⑦経営指針発表会



毎年6月に「経営指針発表会」を開催し、前期の振り返り、来期の目標などを各部門で発表します。

また、全社での勉強会、優秀社員の表彰なども行います。

⑧懇親会の開催



コロナが流行した2020年から開催されていなかった懇親会を、2023年5月に開催しました。
去年より当社敷地内に誘致した取引先従業員の皆様と合同でバーベキューを行いました。

7. 環境経営目標

各年度対象期間：期首7月～期末翌年6月末

項目 \ 年度		基準年度	3年間の目標				
		65期 2018年度	68期 2021年度 ▲4%	69期 2022年度 ▲5%	70期 2023年度 ▲6%		
Co2排出量合計 (kg-CO2)	目標		558,840.63	553,019.38	547,198.12		
	実績	582,125.66	404,594.45	457,983.25	469,956.96		
	電気使用量削減 (kwh)	目標		1,084,618.56	1,073,320.45	1,062,022.34	
		実績	1,129,811.00	1,150,053.00	1,232,006.00	1,270,099.00	
	ガソリン使用量削減 (ℓ)	目標		5,976.95	5,914.69	5,852.43	
		実績	6,225.99	3,517.13	3,168.96	2,458.00	
	軽油使用量削減 (ℓ)	目標		7,857.31	7,775.47		
		実績	8,184.70	183.00	※使用量0のため 2022年度より削除		
	灯油使用量削減 (ℓ)	目標		1,647.36	1,630.20	1,613.04	
		実績	1,716.00	1,307.00	1,487.00	1,543.00	
	液化石油ガス（LPG） (kg)	目標		21.70	21.47	21.24	
		実績	22.60	13.04	21.50	15.90	
	廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標		534,156.48	528,592.35	523,028.22
			実績	556,413.00	165,934.00	193,723.00	323,173.00
		産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標		20,486.40	20,273.00	20,059.60
			実績	21,340.00	43,672.00	27,630.00	17,455.00
水使用量	水使用量削減(m³) 上水	目標		2,704.32	2,676.15	2,647.98	
		実績	2,817.00	1,588.00	1,393.00	1,766.00	
	水使用量削減(m³) 地下水	目標		5,006.40	4,954.25	4,902.10	
		実績	5,215.00	5,721.00	6,475.00	11,320.00	
売上高（円） （目標毎年1.5%UP）	目標	1,386,454,244	1,200,000,000	1,265,600,000	1,670,000,000		
	実績	1,338,921,061	1,186,300.00	1,328,009,461	1,671,824,627		

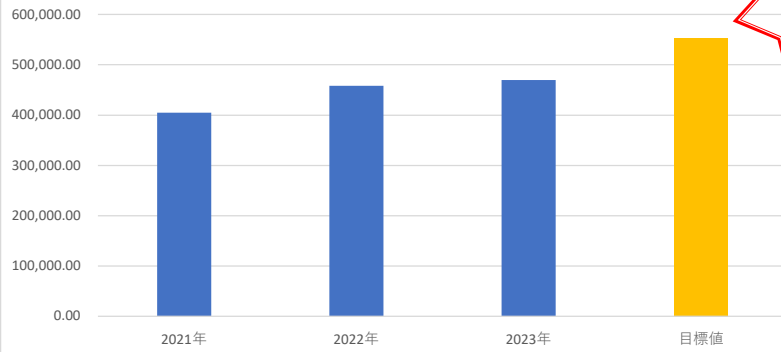
8. 環境経営目標及びその実績（2022年7月～2023年6月）

目標値比 100%以下：○、101～105%：△、106%以上：× ※売上高除く

項目		年度	基準年度	2023年度	目標 数値比	評価	2024年度目標
			2017年4月～	2022年7月～			2023年7月～
			2018年3月	2023年6月			2024年6月
Co2排出量合計 (kg-Co2)	目標値			547,198.12			464,503.60
	実績		582,125.66	469,956.96	86%	○	
	電力使用量削減	目標値		1,062,022.34			1,257,000.00
	(kwh)	実績	1,129,811.00	1,270,099.00	120%	×	
	ガソリン使用量削減	目標値		5,852.43			2,430.00
	(l)	実績	6,225.99	2,458.00	42%	○	
	軽油使用量削減	目標値		7,693.62			
	(l)	実績	8,184.70	2022年度削除			
	灯油使用量削減	目標値		1,613.04			1,520.00
	(l)	実績	1,716.00	1,543.00	96%	○	
液化石油ガス（LPG）削減	目標値			21.24			15.74
	(kg)	実績	22.60	15.90	75%	○	
廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値		523,028.22			319,000.00
		実績	556,413.00	323,173.00	62%	○	
	産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値		20,059.60			17,280.00
		実績	21,340.00	17,455.00	87%	○	
水使用量	水使用量削減 (㎡) 上水	目標値		2,647.98			1,740.00
		実績	2,817.00	1,766.00			
	水使用量削減 (㎡) 地下水	目標値		4,902.10	185%	×	11,200.00
		実績	5,215.00	11,320.00	641%	×	
売上高（千円） （目標毎年1.5%UP）		目標値	1,386,454	1,670,000			16,960,000
		実績	1,338,921	1,671,825	100%	○	

電力排出計数は、関西電力2022年度排出計数（0.362kg-CO2）
中部電力2022年度排出計数（0.406kg-CO2）使用

Co 2 排出量合計 (Kg-Co2)

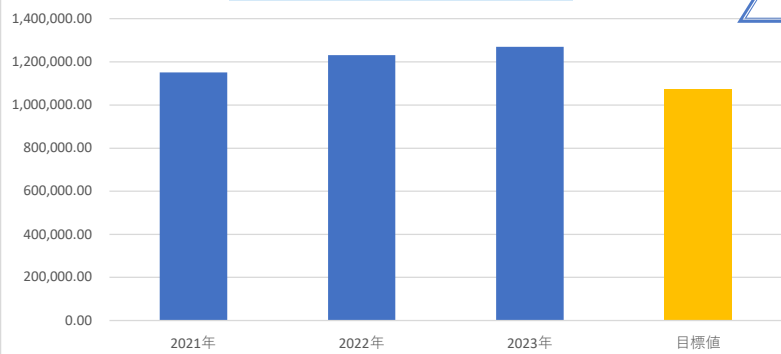


達成

目標達成。
昨年度より増加しているのは電力使用量が増加したことによる。
次の三カ年計画では、最低でも2021年度の数値に戻すことができるよう取り組む。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
Co2 排出量合計	Kg-Co2	404,594.45	457,983.25	469,956.96	553,019.38

電力使用量削減 (Kwh)

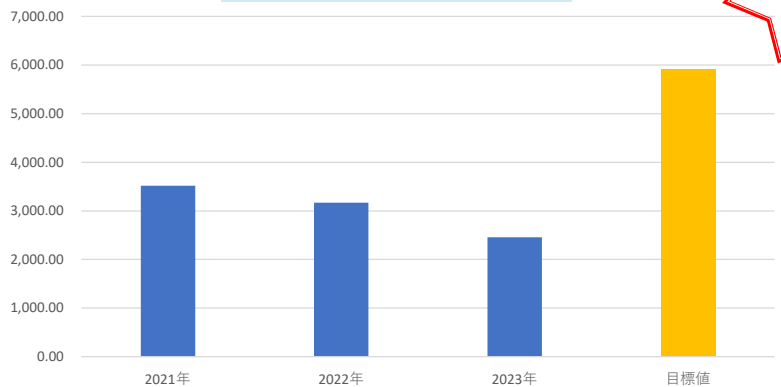


未達成

目標未達成。
こまめな消灯等定着しているが、業務時間の増大で設備の稼働時間が増えていることが要因である。
ただ、2022年10月より敷地内に誘致した取引先様が同電力を使用しており、電力計設置までは当社の去年の電力使用量平均から割合で算出しているため正確な数値を出せていない。
2023年11月ごろより電力計による測定を開始する。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
電力使用量削減	Kwh	1,150,053.00	1,232,006.00	1,270,099.00	1,073,320.45

ガソリン使用量削減 (l)

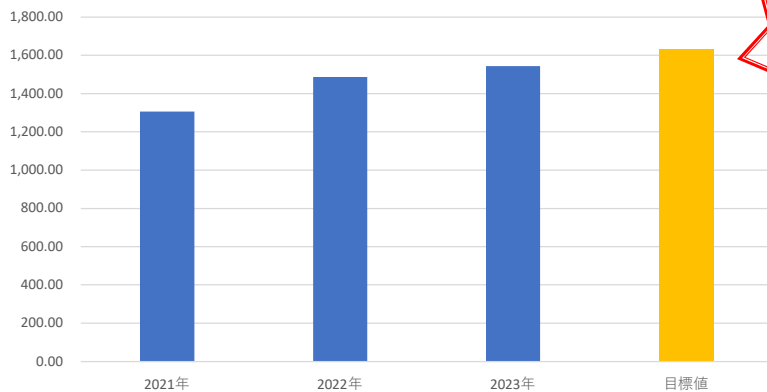


達成

【総評】
去年より削減されたが、引き続き感染症の影響があり営業の外出が減ったことによる。
この数値を維持したうえで営業利益が増加する状態が望ましい。
目標値については三カ年計画にて減少させる方向で検討する。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
ガソリン使用量削減	l	3,517.13	3,168.96	2,458.00	5,914.69

灯油使用量削減 (l)

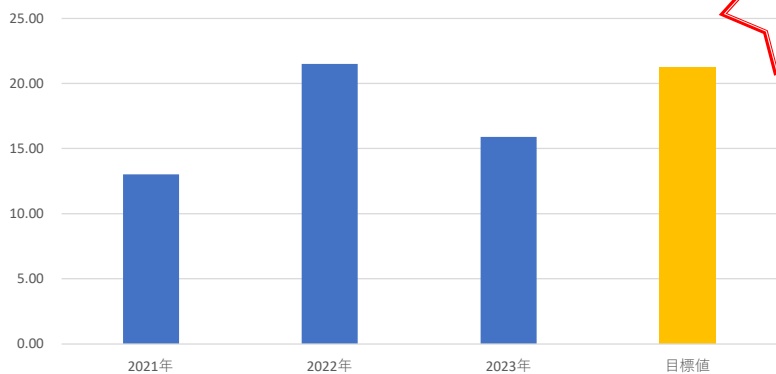


達成

【総評】
目標達成。
工場のストーブと会社寮の給湯に使用。
冬季に時間外勤務時間が増加するとこの数値が増える可能性があるため注意する。
目標は達成したが使用量は増加しており、三カ年計画では2021年の数値まで戻すような計画を作成する。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
灯油使用量削減	l	1307.00	1487.00	1543.00	1630.2

液化石油ガス (LPG(kg))



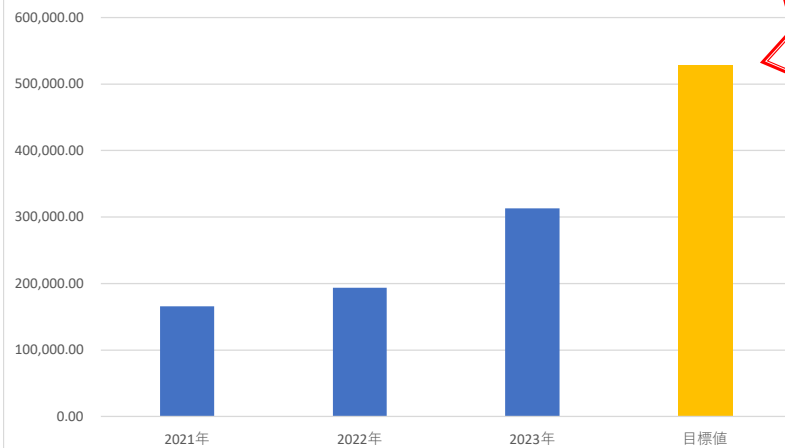
達成

【総評】
目標達成。
去年まで気体 (m³) をkg換算せずデータを集計しており途中で計算しなおした経緯有り。
三カ年計画では単位間違いのないよう見直しを行う。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
液化石油ガス	LPG(kg)	13.04	21.50	15.90	21.24

(2022年6.3としていた(誤記))

一般廃棄物排出量削減 (kg)



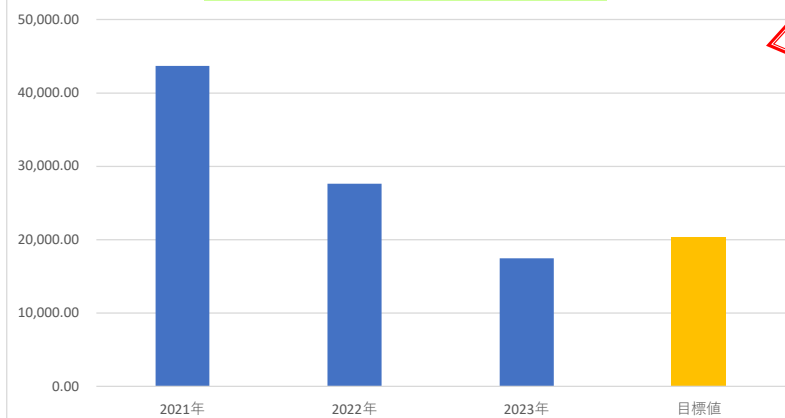
達成

【総評】

ボイラー面積を縮小したことにより一日の燃焼可能量が減ったため目標値を見直す検討をしていた。
今年度は不良品増加および不用品処分等で廃棄量が増加したため去年より数値が増えてしまった。
次回三力年計画では2023年を基準として計画する。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
一般廃棄物排出量削減	kg	165,934.00	193,723.00	313,173.00	528,592.35

産業廃棄物排出量削減 (kg)



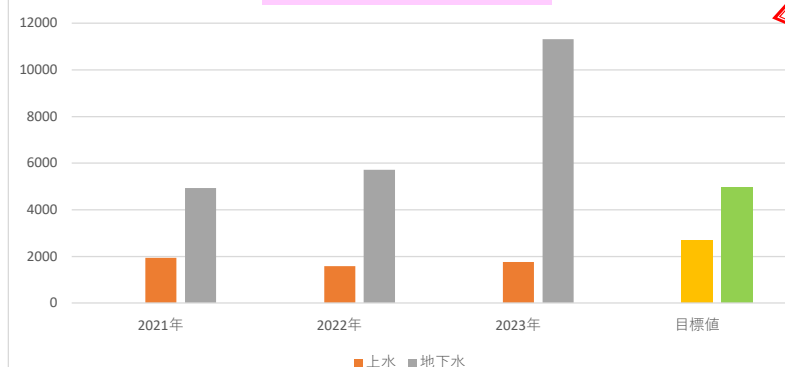
達成

【総評】

目標達成。
今年度は大きな廃棄物がなかったため数値減少となった。しかし次年度から5S活動が行われるため不用品処分が多数あると想定される。
2023年度の目標値を基準として三力年計画を作成する。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
産業廃棄物排出量削減	kg	43,672.00	27,630.00	17,455.00	20,273.00

水使用量削減 (m³)



達成

未達成

【総評】

上水は目標達成。引き続き現状維持を心がける。
地下水は未達成で、凍結によるパイプ破損からの水漏れに気づかず対応が遅れ1~3月使用量が跳ね上がってしまったことが要因の1つ。
また取引様誘致による人員増加のため使用量自体も増加した。来年度からは誘致前後の使用量から割合を算定し、当社使用分を算出して記録するようにする。
目標値はこのまま1%ずつの削減を目指す。

項目	単位	2021年	2022年	2023年	目標値
水使用量削減	m³				
上水		1,939.00	1,588.00	1,766.00	2,676.15
地下水		4,936.00	5,721.00	11,320.00	4,954.25

環境経営計画の取り組み計画と評価①（2022年7月～2023年6月）

策定日： 2022年7月1日
更新日： 2022年7月10日

取組結果評価基準：◎よくできた ○できた △一部できた、できていないときがあった ✖できなかった

	目標課題	取組項目	取組項目	チェック方法	実施時期	担当 本社	担当 弥富	取組結果	評価・来期への対策
管理 部・営 業 部	電力使用量の削減	節電	1. 昼休み・不使用時の消灯	日常点検/都度デスク・部屋の使用確認し消灯	毎日			◎	事務所全体で取り組めた
		エアコン温度管理	2. 冷暖房の設定温度遵守 室温 冬季 20℃～22℃ 夏季 26℃～28℃	日常点検/リモコン近くに適正温度を明記しそれに即しているか確認する	毎日	渡辺	河村	△	弥富で事務所不使用時もエアコンがつけたままのことがあった
		OA機器適正管理	3. OA機器の退社時の電源オフ	日常点検/退社時に電源の確認する	毎日	成田	河村	◎	事務所全体が意識していたと思う
		エアコンフィルター清掃	4. エアコンフィルターの定期清掃	【エアコン清掃時チェックシート】記入	毎年6・12月	有馬	河村	○	実施予定時期とずれた（6⇒8月）
	水使用量の削減	節水の実施	1. 蛇口を大きく開かず過多な量を使わない	社内掲示板にポスター掲示	毎日	有馬	有馬	◎	事務所・トイレの水道は問題なし
			2. 蛇口を固く締める。閉め忘れに注意する	社内掲示板にポスター掲示	毎日	有馬	有馬	◎	閉め忘れ等特になし
			3. 水漏れチェック（水道メーター、請求書確認）	【請求書】で使用量と金額確認（経理）	奇数月	有馬		✖	水道管の水漏れに気づかず対応が遅れ、水道料金が跳ね上がった（5月）請求書で異常があればすぐ調査し対応するようにする。
			4. 水道・水道管からの水漏れ早期対応	蛇口・配管にトラブルがあれば担当者（有馬）に報告	都度報告	有馬	有馬	✖	
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	1. コピー用紙裏紙使用の推進	社内資料用印刷はミスプリントの裏紙使用	毎日	成田	有馬	◎	古い書類なども裏紙として利用した
			2. 個人のごみはなるべく持ち帰る	社内掲示板にポスター掲示	毎日	成田	有馬	○	昼食ごみはなるべく持ち帰るよう社内で検討が必要
			3. ゴミの分別の徹底	社内掲示板にポスター掲示	毎日	成田	有馬	○	ブラごみが燃えるごみに混ざることがあった
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	1. エコドライブの推進	車内や社内掲示板にポスター掲示	安全運転協議会より資料が来たら	有馬		◎	喫煙所にも掲示した
		アイドリングストップの実施	2. 燃費チェック	【走行距離・給油チェックシート】記入（使用者）	給油時に記入し年度末に取りまとめ	運転者		○	年度末にまとめて記入したため随時記入が必要
				【請求書】で使用量と金額確認（経理）	毎月初/請求書確認時	有馬		◎	特に問題なし
		車両運行管理の実施	3. 車両点検 オイル交換・タイヤ空気圧チェック	ガソリンスタンドで給油時にチェック依頼	毎年6・12月に主な使用者に通達	有馬		◎	定期的な実施ができていた
	環境配慮	事務用品等のグリーン購入	1. エコマーク・グリーン商品の購入率を上げる	アスクルで購入実績を確認し率が低ければ該当商品を選定	毎月初/毎年7月にまとめグラフDL	渡辺	成田	◎	文具は80%以上購入できたので他の項目の率を上げたい
	コミュニケーション	環境安全衛生推進委員会・各部会議の開催	1. 隔月で環境安全衛生推進委員会を開催。部門会議で通達し全社で議題に取り組む	【委員会・部門会議議事録】を作成する	環境安全衛生推進委員会：偶数月開催 部門会議：毎月開催	環境安全委員会 全社員		○	部門により業務の都合上参画ができない場合が多く指導ができなかった。
		避難訓練の実施	2. 避難訓練を実施しアンケート等で改善点を確認。	【防災訓練計画表】作成し、訓練後アンケート取りまとめて発表する	毎年3～4月ごろ開催	有馬		○	まずは初回開催できてよかった。次年以降アンケートを用いてよりよい方法を模索する
		近隣からの苦情対応	3. 環境に関する苦情の記録と対応	【コミュニケーション記録】に情報元、状況、対応を記録	随時	有馬		◎	近隣からの苦情0件
		地域活動の実施	4. 近隣のゴミ拾い、イベント開催などを行う	【コミュニケーション記録】に記録	毎年3～4月ごろ開催	有馬		✖	開催できなかった 5S活動の一環として開催できないか検討する

	目標課題	取組項目	取組項目	チェック方法	実施時期	担当 本社	担当 弥富	取組結果	評価・来期への対策
製造部	電力使用量の削減	製造設備の適正管理	1. 昼休み・不使用時の消灯、電源オフ	日常点検/都度設備・部屋の使用確認し消灯	毎日	藤本・石川	河村	◎	不使用時の電源オフ定着しています
		退社時電源チェック	2. 機械・コンプレッサー等の電源オフ	日常点検/退社時に電源の確認する	毎日	藤本・石川	河村	◎	不使用時の電源オフ定着しています
		コンプレッサーの適正管理	3. フロン漏れチェック	【始業前チェックシート】の該当箇所に記入する	毎日	藤本・石川	河村	◎	始業前チェックが日常活動になりました
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	1. 工場で排出されたゴミ以外の削減	社内掲示板にポスター掲示	毎日	藤本	河村	○	どうしても個人のごみの排出がある。持ち帰りの意識を高めるよう指導したいです
		産業廃棄物の削減	2. 産業廃棄物の分別	ゴミ収集所に明記されたフレコン・ボックスに分別されているか確認	毎日	藤本	嶋村	○	混合ごみの削減のためさらに分別が必要
			3. マニフェスト記録管理	【産業廃棄物排出量取りまとめ】記入	マニフェスト到着毎	有馬		◎	管理できており県への報告も怠らなかった
	環境配慮	騒音作業	1. 各工程の指定箇所の騒音係数測定を行う	【騒音、照度記録用紙】測定値記入	毎年4・10月	有馬	嶋村	○	取引先の工場内誘致で機械配置変更があったため10月が1月に遅れた。
		作業場の照明	2. 各工程の指定箇所の照度測定を行う	【騒音、照度記録用紙】測定値記入	毎年4・10月	有馬	嶋村	○	
		フロン点検	3. エアコン室外機・コンプレッサーの点検を行う	【フロン点検チェックシート】記入	毎年2・5・8・11月	有馬	嶋村	◎	実施は問題ない
		資材・消耗品のグリーン購入	4. エコマーク・グリーン商品の購入率を上げる	アスクルで購入実績を確認し率が低ければ該当商品を選定	毎月初/毎年7月にまとめグラフDL	渡辺	成田	○	業務上変更が難しいものもあり事務用品ほど進められない
			5. FSC認証商品の購入	輸入商品は100%FSC認証商品を購入する	FSC認証審査と輸入書類で確認	有馬・成田		◎	手続は問題なし。購入率の上昇は難しい

※F☆☆☆☆製品とは建築基準法改正により建築材料につけられることになった等級区分で、4段階ある等級の最上位で使用に制限のないものである。

10. 来期以降 三か年計画 目標値

環境経営実績及び取組計画への評価を踏まえ、下記のように三か年計画を実施する。
水道管の故障が原因で数値が極端に上がってしまった地下水のみ2022年度を基準年度とした。
新たに不良率削減の目標値を掲げた。

項目 \ 年度		基準年度	3年間の目標				
		70期 2023年度	71期 2024年度	72期 2025年度	73期 2026年度		
	Co2排出量合計 (kg-CO2)	目標	547,198.12	464,503.60	459,725.80	454,923.10	
		実績	469,956.96				
	電気使用量削減 (kwh)	目標	1,062,022.34	1,257,000.00	1,244,000.00	1,231,000.00	
		実績	1,270,099.00				
	ガソリン使用量削減 (ℓ)	目標	5,852.43	2,430.00	2,410.00	2,390.00	
		実績	2,458.00				
	灯油使用量削減 (ℓ)	目標	1,613.04	1,520.00	1,510.00	1,490.00	
		実績	1,543.00				
	液化石油ガス (LPG) (kg)	目標	21.24	15.74	15.58	15.42	
		実績	15.90				
	廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標	523,028.22	319,000.00	316,000.00	313,000.00
			実績	323,173.00			
		産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標	20,059.60	17,280.00	17,100.00	16,930.00
			実績	17,455.00			
水使用量	水使用量削減(m³) 上水	目標	2,647.98	1,740.00	1,730.00	1,710.00	
		実績	1,766.00				
	水使用量削減(m³) 地下水 (※2022年度基準)	目標	4,954.25	6,410.00	6,340.00	6,280.00	
		実績	6,475.00				
不良率削減 (%) ※2023年3～6月基準 不良金額/売上金額		目標		0.70%	0.60%	0.50%	
		実績	0.83%				
売上高 (円) (目標毎年1.5%UP)		目標	1,670,000,000	1,696,000,000	1,721,000,000	1,747,000,000	
		実績	1,671,824,627				

電力排出計数は、関西電力2023年度排出計数 (0.299kg-CO2)
中部電力2023年度排出計数 (0.449kg-CO2) 使用

10. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果

適用される法規制	遵守すべき要求事項	最終改正日	遵守確認日
・大気汚染防止法	ボイラー設置・変更・廃止届 ばい煙検査年2回	2020/6/5	2023/5/18
・ダイオキシン類対策特別措置法	ボイラー燃えがら検査 年1回	2022/11/25	2023/3/6
・悪臭防止法	ボイラーのばい煙検査、地域住民からの苦情等	2020/1/23	2023/5/18
・産業廃棄物処理法	マニフェストの管理、産業廃棄物管理交付等状況報告書、契約書、許可証等	2012/3/27	2023/6/30
・浄化槽法	浄化槽管理・法定検査、定期検査、定期清掃	2022/2/28	2023/7/3
・騒音規制法	地域住民からの苦情等無し	2021/12/24	2023/6/30
・振動規制法	地域住民からの苦情等無し	2022/5/24	2023/6/30
・工業用水法	井戸水使用許可、使用量報告（年1回）	2022/6/17	2023/4/3
・フロン排出抑制法	業務用エアコン、エアドライヤーの簡易点検（3か月/1回） （第一種特定製品）	2023/3/31	2023/6/30
・消防法	指定可燃物（木材）保管届出書 火災報知器・消火器の定期検査（年1回） 危険物の適正管理	2023/4/1	2023/6/30
・グリーン購入法	合法木材（クリーンウッド法）の購入推進 FSC認証品等環境に配慮した物品を購入（コピー用紙等）	2023/2/24	2023/6/30
・愛知県環境基本条例	アイドリングストップ義務 社員への指導	2001/4/1	2023/6/30
・廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	産業廃棄物の処理委託先の確認について（第7条関係） チェック表を用いて現状を記入	2021/4/1	2023/2/1

上記以外の環境関連法規等の遵守評価結果、遵守を確認。

また、今年度も関係機関からの指摘・指導は無く、訴訟等はありませんでした。

11. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・

指示の結果

当社は2019年4月にエコアクション21に初回登録し、今年で4年が経過しました。この経営環境レポートを登録初年度のものと比較すると、SDGsへの具体的な取り組み状況や、社内で実際に行われている環境改善活動の様子などが加筆され、内容がかなり充実したものとなってきております。EMS（環境認証）を取得したことや、生産改善について外部コンサルタントの指導を受けたことにより、業務が忙しい中であっても5S活動に取り組み職場清掃を継続的に実施したり、作業環境改善に自主的に取り組む社員が増加するなど、良い習慣が根付きつつあると実感しています。

当社の「第70期経営指針書」には、2030年に向けて達成したいSDGsの数値・状態について、17項目分けてさらに細かい目標設定をしています。今回のレポート内容を踏まえて各項目の進捗の点検を行い次期事業計画へ反映させていくことで、改善活動のPDCAを回して確実に目標達成ができるようにしていきます。

2023年はアフターコロナ時代の到来として本格的な景気回復が期待されていましたが、ウクライナ紛争の勃発によるエネルギーコストの高騰や、インフレ進行による物価高の影響を受けて、建築コストについても高止まりしたままで推移しました。これにより、住宅取得層が購入を躊躇するようになり、結果として、新設住宅着工戸数は前年割れとなっています。

一方、当社では新規事業への取り組みの効果により、2023年6月期は売上高が対前年比26%増という好業績を残すことが出来ました。生産数量が増えたことで電気使用量も増加したものの、前年比3%の増加に留めており、効率的な生産活動ができたものと考えています。最近では、時間当たり生産性の向上に全社的に取り組んでおり、まだ改善の余地があることから、売上向上と省エネの両方への取り組みを進めていく予定です。

日本社会の少子高齢化は長期トレンドであり、今後も住宅市場の縮小は継続します。そのような環境下で事業を継続するためには、より一層の生産性の向上と、省エネ・省資源の取り組みによるコストダウンが必要です。また、当社のSDGs目標についても達成できているのは現状では4割程度です。2030年に向けてよりよい地域社会と自社の未来を創造するため、これらの目標達成に着実に取り組んでいきます。

アサイウッドマテリア株式会社

代表取締役 浅井勇詞

見直し項目		変更の必要性	問題点	指示・改善事項	承認日	承認者
1	環境方針	有 ☐ 無 ☒			2023/6/30	
2	環境目標	有 ☐ 無 ☒			2023/6/30	
3	環境活動計画	有 ☐ 無 ☒			2023/6/30	
4	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒			2023/6/30	
5	その他(外部への対応)	有 ☐ 無 ☒			2023/6/30	